



中堅・中小企業（SMB）向け

AWS活用事例のご紹介

Amazon Web Services Japan

舟崎 健治 白井 一行

2016/6/2



自己紹介

名前：舟崎 健治

所属：アマゾン ウェブ サービス ジャパン

職種：ソリューションアーキテクト

中堅・中小企業様から大企業様まで、幅広くAWS上でのシステム構築の技術支援



Agenda

- Introduction
- AWS活用事例紹介
 - 業務システム（パッケージソフト含む）のAWS移行事例
 - 全社システム（AD・ファイルサーバ・基幹・仮想デスクトップ）の移行事例
 - 多拠点からのセキュアネットワーク接続事例
 - Oracle DBからAmazon Auroraへの移行事例
 - 新規BI導入の事例
- まとめ

Introduction

日本で数万以上のお客様※ (世界で100万以上)



※アクティブアカウントを指します

AWSホームページで事例や動画公開中



なぜAWSが採用されるのか？

俊敏性

運用負荷の軽減

本来の業務への集中

高可用性

コストの最適化

セキュア

基幹システム (パッケージソフト含む)の AWS移行事例

イートアンド株式会社様



事業内容

- 「大阪王将」「よってこや」「太陽のトマト麺」などの外食事業を展開。食料品の販売事業等を含む、新しい独自の「総合フードビジネス」を展開

会社概要

- 年商：230億円
(2016年3月期)
- 従業員数：983名
(2016年3月31日現在)

お問い合わせ担当者



イートアンド株式会社
管理本部
情報システム部
山内 久利様

お客様の背景・課題

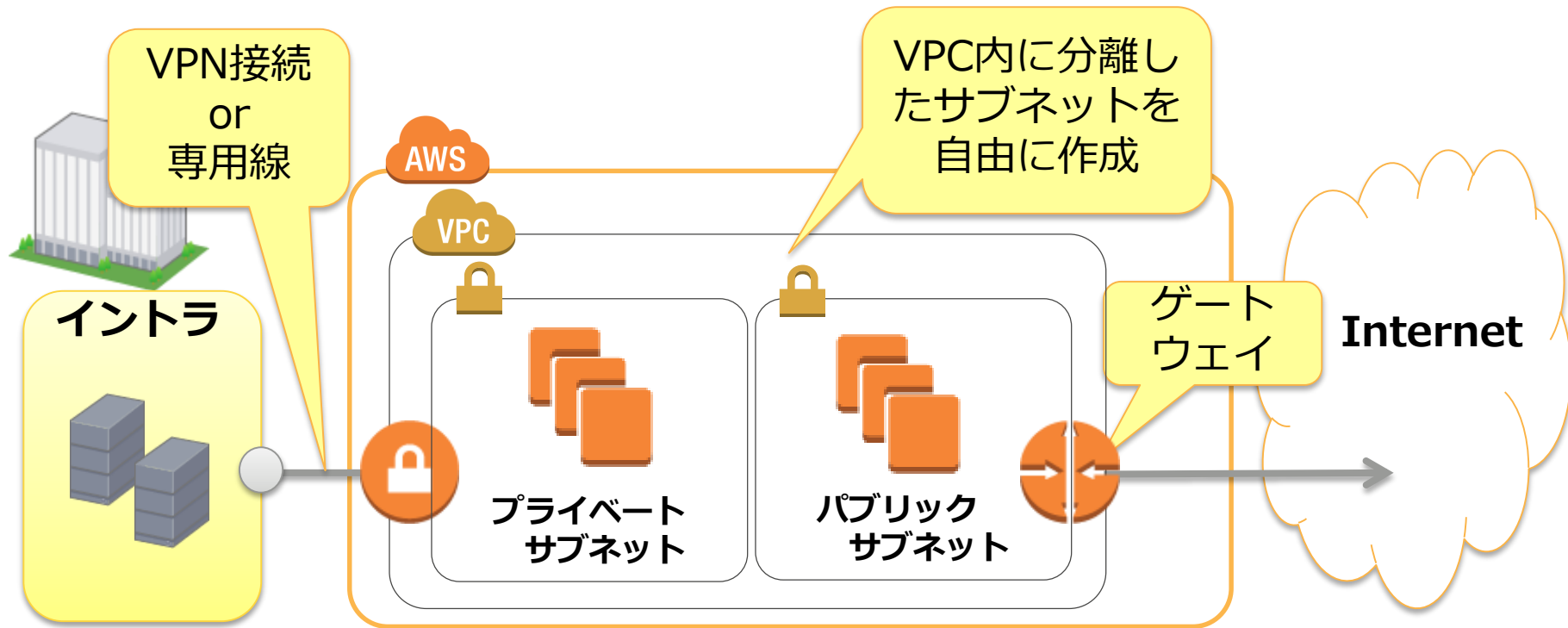
- サーバ台数増加に伴い管理工数が増大
 - ✓ 少人数の体制のため、HW故障対応、定期メンテナンス対応など、自社運用が限界

なぜAWSを採用されたのか？

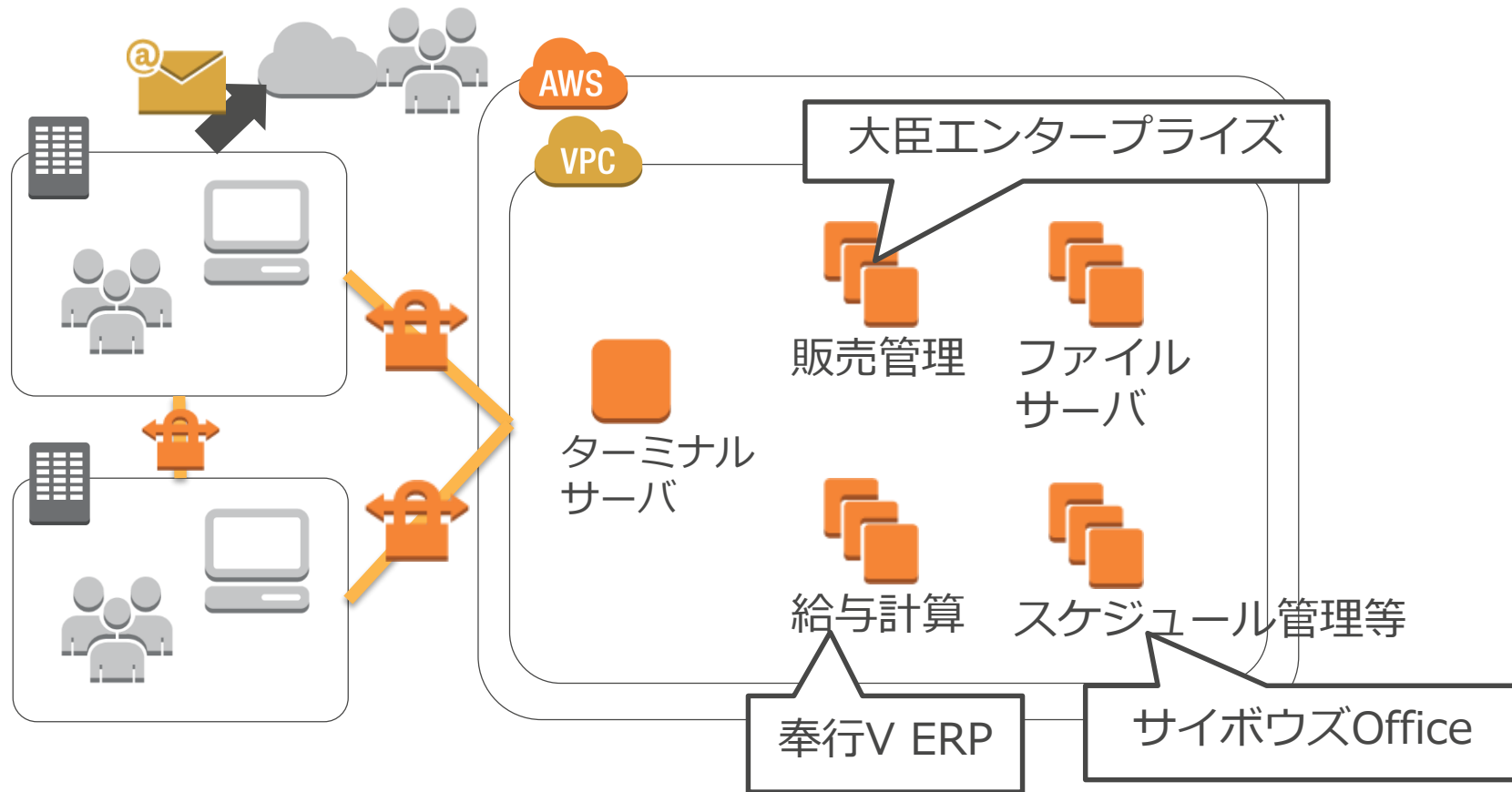
- 管理・運用工数の削減のため
 - ✓ AWSでは、HW故障対応,定期メンテの立会から開放
 - ✓ 必要なサーバをすぐに利用

社内システムをセキュアに運用する仕組み Amazon VPC (Virtual Private Cloud)

～AWS上にプライベートネットワークを構築～



イートアンド株式会社様 社内業務アプリケーションシステム構成図



移行前に気になった点は？

- ネットワークのレスポンス
→ ファイルサーバで検証し、問題がなかった

どうやって移行を開始されたか？

- ファイルサーバを構築・検証後、次に人事奉行、給与奉行勤怠奉行を移行し、続いて、販売大臣と段階を追って移行
- 他社の実績、ノウハウがあるパートナーに参画頂いた

イートアンド株式会社様



移行してみたご感想・今後の課題

- HWありきで考える必要がなくなる。
- あまりにも簡単に環境を用意できるため、どのように管理するかを検討

会場の皆様へのメッセージ

- 怖がらずにやってみる。許される範囲でまず試す！！
- 小さく始めて、大きく育てる。
(効果・実績を少しずつ積み上げる)



山内 久利様

全社システム

**(AD・ファイルサーバ・基幹・
仮想デスクトップ)**

移行事例

仮想デスクトップサービス Amazon WorkSpaces

～1ユーザから月額課金で利用～

- Windows/Mac/Chromebook/iPad/Kindle Fire/Androidタブレットなど任意のデバイスからアクセス
- マネジメントコンソールを数回クリックするだけでデスクトップをユーザー数を問わずに展開可能



事業内容

- ファンドマネジメント・アセットマネジメントを提供。日本だけでなく、アジア屈指の不動産投資管理プラットフォームを目指す

会社概要

- 年商：非公開
- 社員数：70名

お問い合わせ担当者



株式会社
イデラキャピタル
マネジメント
シニアマネージャー
田中 伸様

お客様の背景・課題

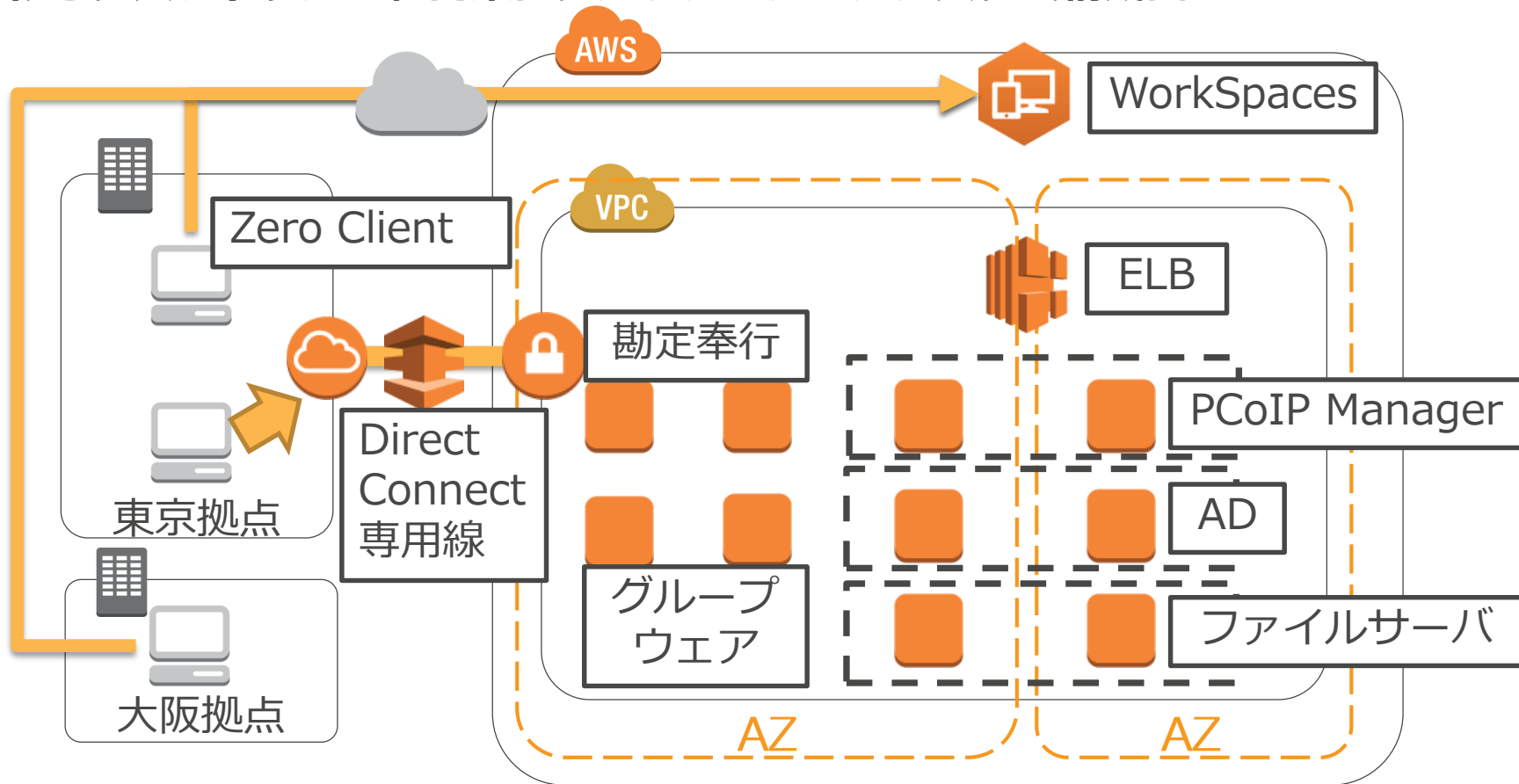
- パフォーマンス,事業継続性,Windowsアカウントの管理
- ブラックボックス化した（透明性の低い）システム運用

なぜAWSを採用されたのか？

- AWSの豊富な機能やパフォーマンス
 - ✓ 仮想デスクトップサービスのWorkspaces
 - ✓ クラウドウォッチによる監視環境

株式会社イデラキャピタルマネジメント様

仮想デスクトップ・社内業務アプリケーションシステム構成図



どのように社内を説得されたか？

- DCレベルでの冗長化構成によるBCP対策のメリットを説明
- WorkSpacesを導入することで、フレキシブルな働き方に対応
- コスト削減（業務委託費、DC費用（東京・大阪）、東京⇔大阪間閉域網等の費用に比べAWSを導入することで月額20～30万円の費用削減

どうやって移行を開始されたか？

1. 自社でアカウントを取得し、WorkSpacesの検証を実施（自社）
2. パートナーと要件定義
3. 専用線開通後に順次、会計、経費精算用ワークフローを移行
4. AD、ファイルサーバなど全システムを移行

アカウント取得から約7ヶ月で移行完了



田中 伸様

移行してみたご感想・今後の課題

- パートナーのサポートが当初想定よりかなり手厚くプロジェクトの進行がスムーズ
- Workspaces + Zero Client + Surface3 (LTE搭載) が出張・外出の多い社員から好評

会場の皆様へのメッセージ

- パートナー企業を活用し、サーバのお守りから解放され、自身は業務に専念できます
- 弊社のような企業でも安定稼働・費用削減・業務負荷軽減などさまざまな効果を楽しんでいるので、同程度のお客様はもとより、もっと大きな企業様にも効果が得られるはず

多拠点からのセキュアな ネットワーク接続の事例

事業内容

- 2015年10月に創業100年を迎えた、建設資材、太陽光発電システム、断熱材、産業用資材などを取り扱う多角的専門商社

会社概要

- 年商：（連結）912億円（連結）
（2016年3月期）
- 社員数：240名
（2016年3月時点）

お問い合わせ担当者



高島株式会社
システムユニット
岡島 敦海様

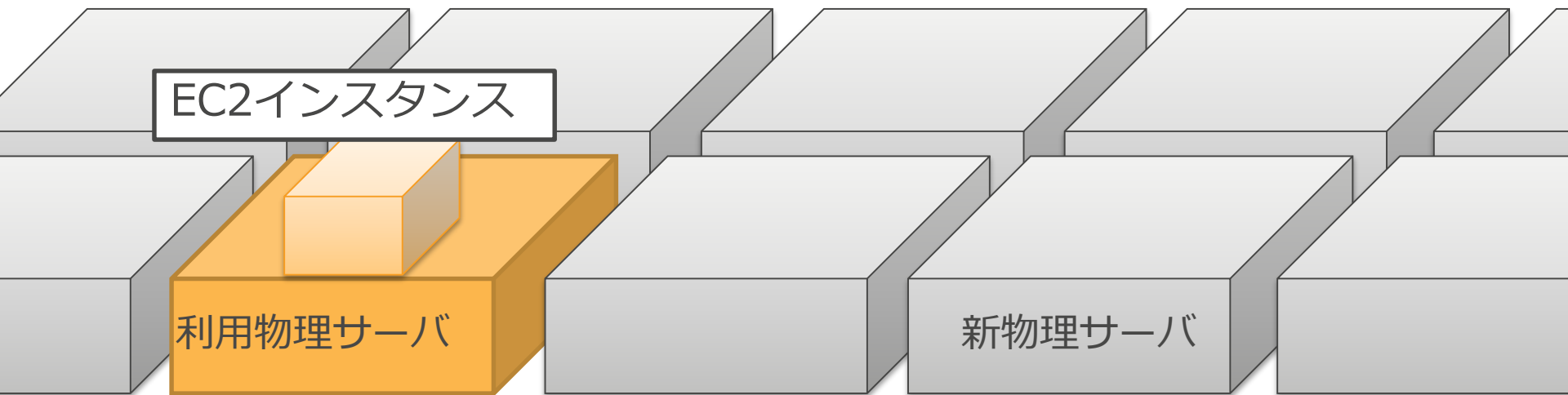
お客様の背景・課題

- 5年毎の保守期限切れに伴う、物理サーバのリプレースが、無駄と感じていた
- 社内外からセキュアで柔軟にアクセスして情報を共有できるネットワーク環境の構築

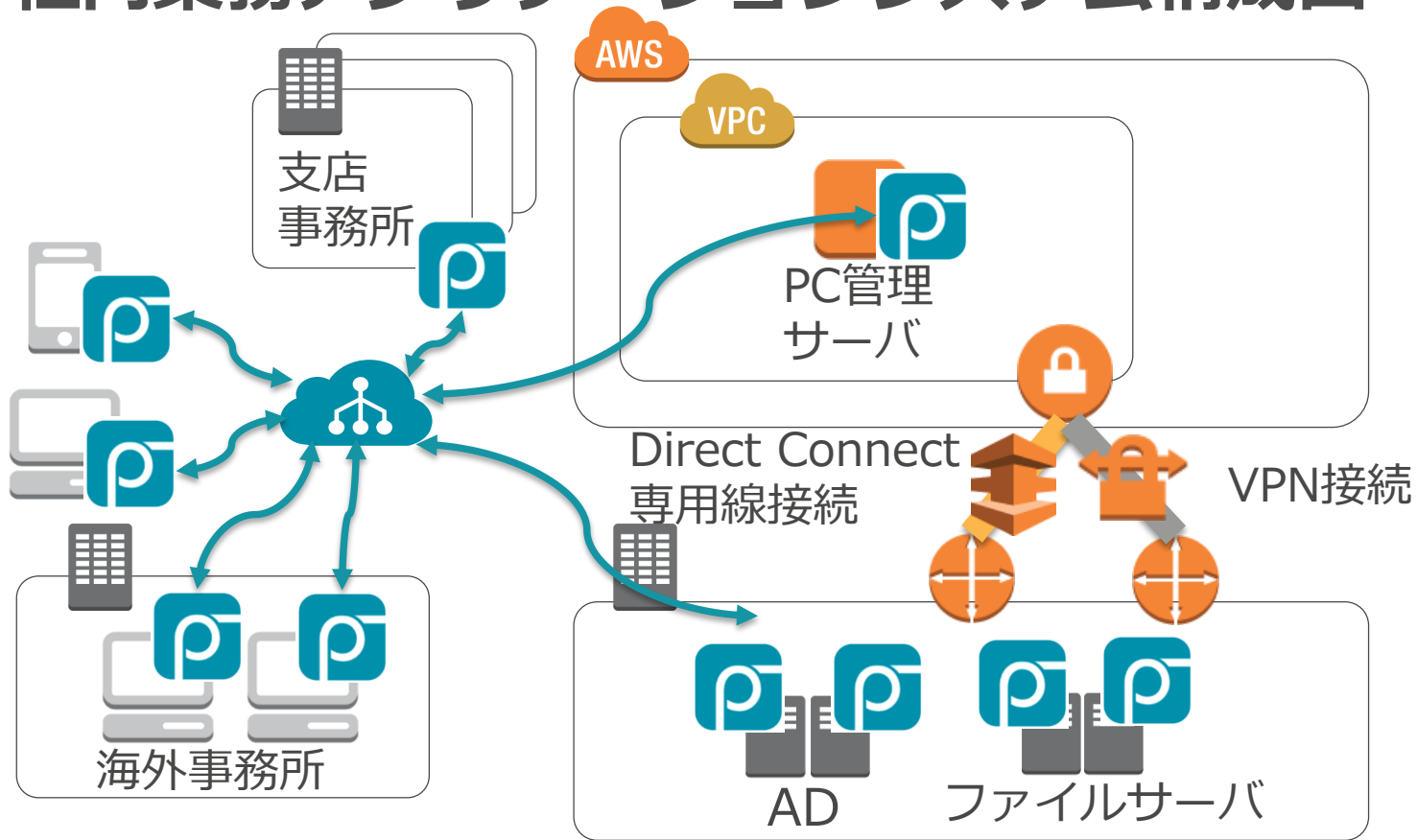
なぜAWSを採用されたのか？

- 物理サーバのリプレースが不要
- AWS専門ベンダーが多数存在し、既にクラウド運用のノウハウが大量に蓄積されており、安心感があった
- 内製化に向けて、自社にナレッジを溜めることが可能

最新サーバへの移行、HW障害時復旧 Amazon EC2インスタンス（仮想サーバ）の 物理サーバ間の移動イメージ



社内業務アプリケーションシステム構成図



どのように社内を説得されたか？

- クラウドへ移すこと自体は抵抗がなかった
- 利用しているネットワーク（専用線）を含めたトータルコストを試算し、現行DCを閉鎖する絵を書けた

どうやって移行を開始されたか？

- ハードウェアの保守期限切れたサーバから順次AWSへ移行
- 新規でサーバが必要な場合、AWS上に構築

移行してみたご感想・今後の課題

予想以上にAWSとのネットワーク通信が速い。
(VPN接続でファイルサーバが、全くストレスなく
利用可能)

会場の皆様へのメッセージ

想像以上にAWSが安定かつネットワーク通信が速い
ので、大胆に全部のサーバをAWS上に立てる方針が
良い

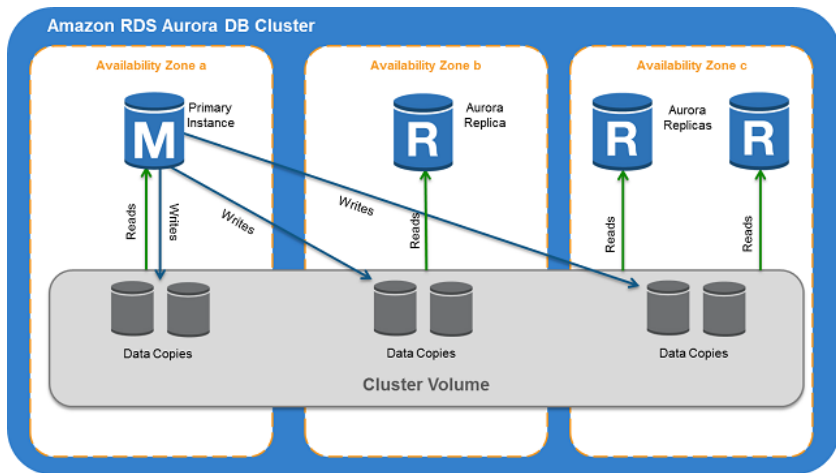


岡島 敦海様

Oracle DBから Amazon Auroraへの移行事例

Amazonがクラウド時代に再設計したデータベース Amazon Aurora

- MySQLと互換性のあるリレーショナルデータベース
- ハイエンドな商用データベースの可用性・スピード、OSSの簡素性とコスト効率性を持つ



- ✓ 3AZ (DC群) に2つずつ、計**6つのデータのコピー**を保持
- ✓ 30秒以内でフェイルオーバー
- ✓ ストレージが**10GBから64TB**までシームレスに拡張

株式会社翻訳センター様



事業内容

- 特許、医薬、工業、金融・法務分野に特化した翻訳を提供している国内最大規模の産業翻訳サービスを提供

会社概要

- 売上高：92億円
(2015年3月期)
- 従業員数：405名
(2015年3月31日時点)

お問い合わせ担当者



株式会社翻訳センター
業務推進部
浅見 和宏様

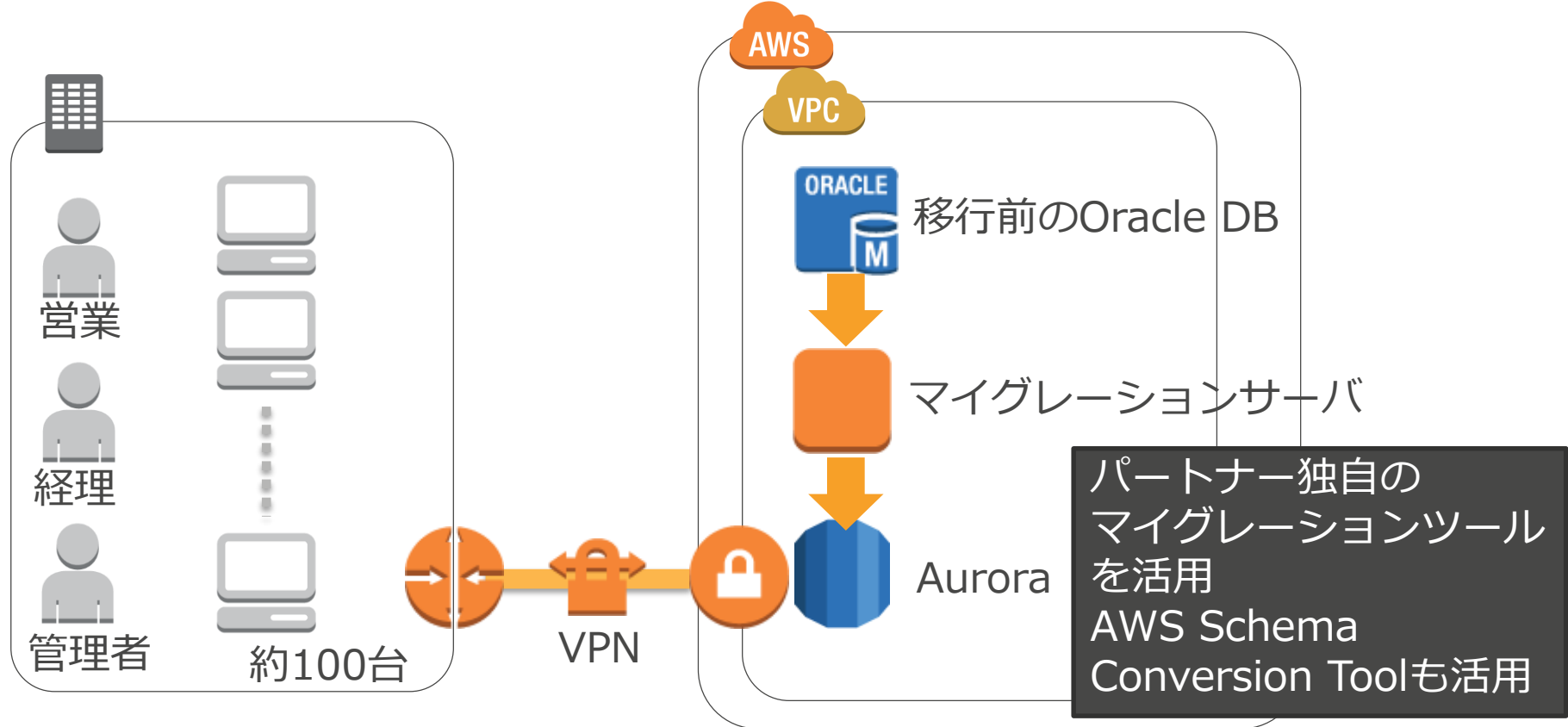
お客様の背景・課題

- 元々、データ検索・閲覧システム用にOracleを活用
- 機能追加および検索結果表示のレスポンス改善の課題が浮上

なぜAWSを採用されたのか？

- 機械翻訳や旧システムで既にAWS活用実績あったため

株式会社翻訳センター様 データ閲覧・検索システムの移行時の構成図



どのように社内を説得されたか？

- RDS for Oracleと同等のコストで、AuroraでCPUおよびメモリのスペックアップによるレスポンス改善が見込まれる
- Oracle Standard Edition Oneの販売停止のタイミングもあり、今後を見据えてAuroraを検証すべき

どうやって移行を開始されたか？

- DBのマイグレーション技術に強いパートナーに依頼
- 発注からDBの移行とアプリケーションの改修を含めて1か月程度で完了



浅見 和宏様

移行してみたご感想・今後の課題

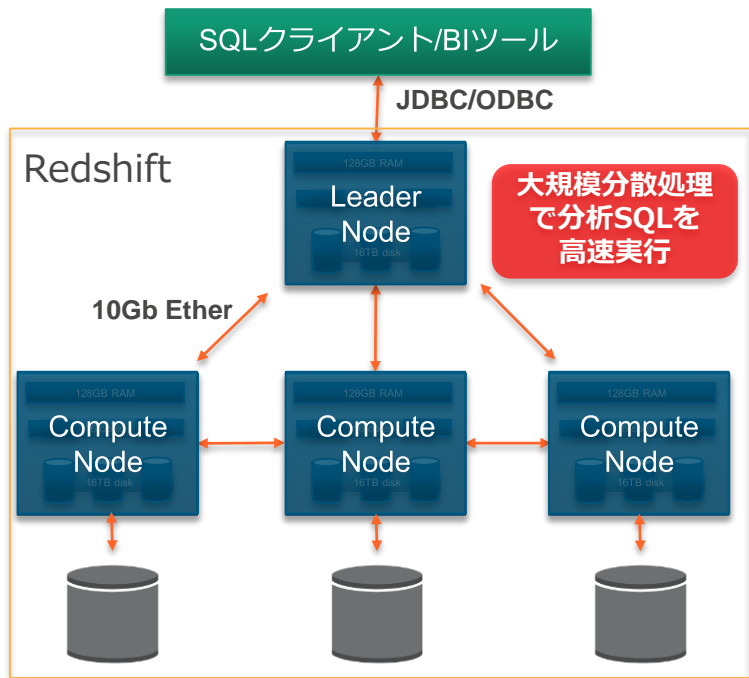
正確なベンチマークをしていないが、レスポンスが速くなったように感じている

会場の皆様へのメッセージ

- データベースを変更するための検証結果を、ひと昔前では考えられないほどわずかな時間で得られたことに驚いた
- クラウドの活用は必須になると感じている
- まずは使ってみるというのが出来るのがとても良い

新規BI導入のAWS活用事例

フルマネージドのデータウェアハウス Amazon Redshift



- 160GBから最大1.6PBまで拡張可能
- 超並列(MPP)、カラムナ型DBエンジンによる高速処理
- 他のAWSサービスとの高い親和性
- 従来のデータウェアハウスの1/10のコスト

株式会社 柿安本店様



お問い合わせ担当者



株式会社 柿安本店
経営管理部
システムグループ
マネージャー
三井 貴博様

事業内容

- 明治4年（1871年）牛鍋屋として創業以来、140余年の歴史を誇る肉の老舗。
- 「おいしいものをお値打ちに提供する」の経営理念で、精肉、惣菜、和菓子、レストラン、食品の5つの事業を展開

会社概要

- 年商 : 435億円（2016年2月）
- 社員数 : 3,408名
（社員 : 1,005名、パート・アルバイト : 2,403名）



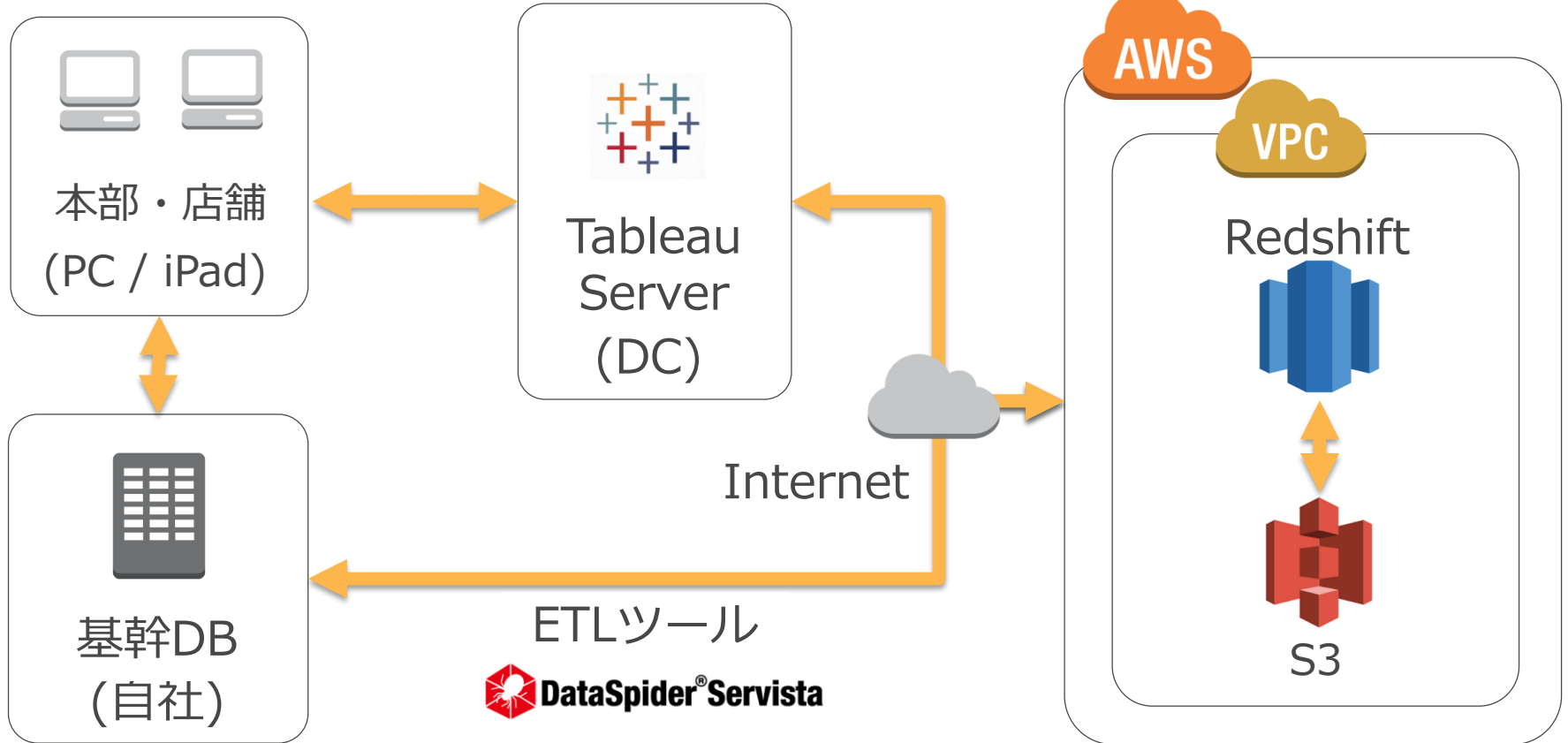
お客様の背景・課題

- 経営、営業指標可視化のためBI導入を検討
- 新規BI環境構築の敷居を下げるためには小規模導入かつ段階的利用拡大が望ましい

なぜAWSを採用されたのか？

- BIツール / DBaaS環境を各種比較した結果 Tableau / Redshift がベストだった
(導入速度、社内への展開速度、費用対効果)
- 費用と性能をNode数で調整可、要求と合致

株式会社 柿安本店様 BIシステム構成図





どのように社内を説得されたか？

- BIツールの利用価値を訴求した
(レポート自動化 → 省力化 → 分析主体の業務へ移行 → 業務改善 → 業績改善)
- BIへの要求が多岐に亘るため、事業部/役職毎に調整を繰り返した

どうやって移行を開始されたか？

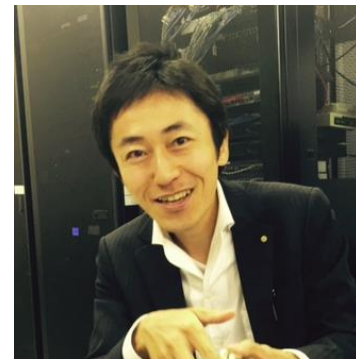
- 無料枠内で環境構築(自社)、社内デモ実施、承認
- 段階的に利用Node数を追加
- 不明点はAWSサポート (ビジネス) を活用

株式会社 柿安本店様



移行してみたご感想・今後の課題

- 無料枠の存在、容易な環境構築が早期導入に繋がった
- サポートセンターの対応が迅速
- レスポンスと費用のバランスは継続して評価が必要



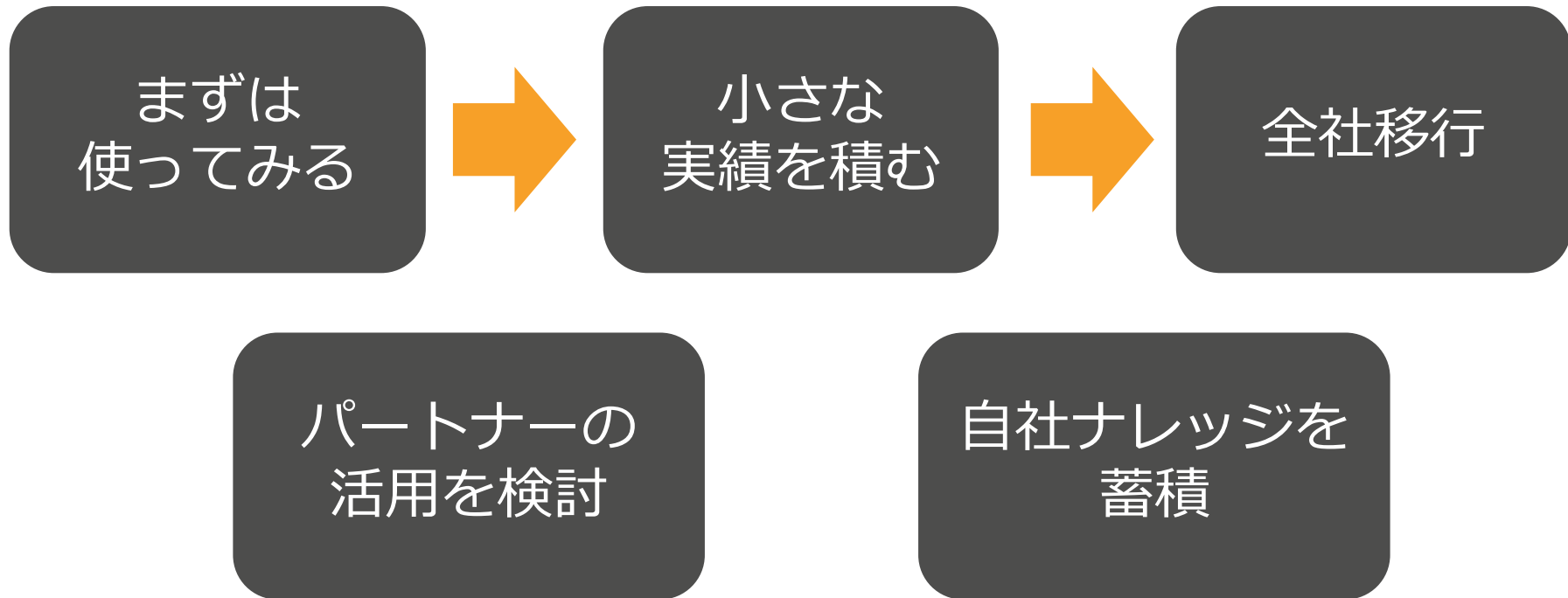
三井 貴博様

会場の皆様へのメッセージ

悩む前に「取りあえずやってみる」精神！！
AWSなら、良い結果に繋がると思います。

まとめ

中堅・中小企業のAWS活用の進め方の ベストプラクティス



AWSの導入、お問い合わせのご相談

AWSクラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は、以下のリンクよりお気軽にご相談ください

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>

<p>お問い合わせ</p> <hr/> <p>日本担当チームへのお問い合わせ ></p> <hr/> <p>関連リンク</p> <p>フォーラム</p>	<h2>日本担当チームへのお問い合わせ</h2> <p>AWS クラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は、以下のフォームよりお気軽にご相談ください。平日営業時間内に日本オフィス担当者よりご連絡させていただきます。</p> <p>※ご請求金額またはアカウントに関する質問はこちらからお問い合わせください。 ※Amazon.com または Kindle のサポートに問い合わせはこちらからお問い合わせください。</p> <p>アスタリスク (*) は必須情報となります。</p> <p>姓*</p> <input type="text"/> 名* <input type="text"/>
---	---

※ 「AWS お問い合わせ」で検索してください

Gold Sponsor



Silver Sponsor



野村総合研究所



Bronze Sponsor



DemoPit for Business



DemoPit for Developers



TwitterでAWS Summitに参加しよう!

 #AWSSummit

公式アカウント **@awscloud_jp**

をフォローしたお客様に
フリクションボールペンをプレゼント!

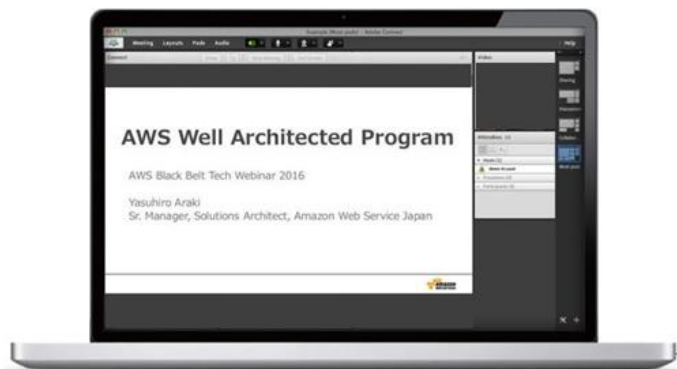


【配布場所】 ロビーや展示会場のコンパニオンが配布中！お気軽にお声かけください。

AWS Black Belt Online Seminarのご案内

毎週開催

AWSJ の Tech メンバーがAWSに関する様々な事を日本語で紹介・解説する**無料**のオンラインセミナー



AWSについてもっと勉強したい方にオススメ！

AWS イベント

検索



AWS
Black Belt
Online Seminar

ご清聴頂きありがとうございました